第8回 WebStorage と JSON、Webサー バーの動作確認

今回の演習の目的は次のとおりである。

- ブラウザ内に情報を保存する WebStorage の利用法
- 構造化されたデータを表現する一つの方法としてある JSON 形式を理解し、利用できること
- 他の授業でインストールしてあった XAMPP の設定を確認し、Web サーバーが各自のノートパソコンで動作できることを再確認する。

課題に(必須)と書かれたものを最低行うこと。それ以外の課題はいくつか選択してよい。

課題 1 (バンジオ・ビンナの錯視図形) 演習のビデオ1を見て次の問いに答えよ。

- 1. 次のことについて報告をする。
 - (必須) バンジオ・ビンナの錯視図形のページで、構成する色を変えることができること
 - (**必須**)localStorage 版のバンジオ・ビンナの錯視図形のページを表示させ、構成する 色を変えた後でページを閉じ、再度表示させたときに最後の色が表示されること
 - (必須)localStorage の値を確認する。また、ブラウザで localStorage を直接変えた
 後、再度表示した結果
 - (必須)localStorage 版の 9 行目のコメントを外した時に上記と同様のことを行うとどうなるか。
 - バンジオ・ビンナの錯視図形で表示させる図形の形を変えるパラメータを外部から指定できるようにする。同様の動作は localStorage 版でもできるようにする。

課題 2 (JSON) 演習のビデオ2を見て次の問いに答えよ。

- 1. (必須)localStorage 版の JSON 形式で保存するバンジオ・ビンナの錯視図形のページ を表示させ、構成する色を変えた後でページを閉じ、再度表示させたときに最後の色が表示されること。
 - バンジオ・ビンナの錯視図形のページで表示させる図形の形を変えるパラメータを外部 から指定できるようにしたもののデータを JSON 形式で localStorage の一つのとこ ろに保存するようにする。
- 2. 「HTML と SVG の間でデータを交換」において次のことができるようにする。
 - (必須) 最終のデータを個別に localStorage に保存する。
 - (必須) 最終のデータを JSON 形式で localStorage に保存する。

- 今までに作成した SVG 図形の各種パラメータを localStorage に保存できるように変更する
- 3. 分割代入に関する事項を答えよ。
 - 分割代入で2つの変数の値を入れ替える式を1回の代入で済ませるプログラムを書け。
 - ◆ 次のプログラムを実行するとエラーが発生するか、結果がどうなるか確認する。
 - [a,b] = [1,2,3]
 - [a,,[b]] = [1,2,[5,6,7]]
 - $[a, \ldots c] = [1,2,3,4,5]$
 - バンジオ・ビンナの錯視のプログラムで得られる

document.getElementsByTagName('input[type="text"]')

に対して for Each が直接実行できないことを確認する (10 行目の Colors.for Each(...) を Cs.for Each(...)) で書くとエラーが発生する)。

• 分割代入は前間のものに対しても可能であるか確認する

課題 3 (XAMPP の起動と基本設定の確認) 演習のビデオ3を見て次の問いに答えよ。

- 1. (必須)XAMPP の起動ができることを確認する。
- 2. (必須)XAMPP の設定に関する次のことを答えよ。
 - (a) XAMPP のインストール場所
 - (b) http://localhost にアクセスしたときに表示される画面
 - (c) http://localhost/index.html と http://localhost/index.php にアクセスしたと きに表示される画面

http://localhostにアクセスしたときに表示されるファイルは何か考

3. (**必須**)localhost にアクセスしたときに表示されるページの左側にある phpinfo() から次 の項目を探し、その下に記せ。

• Document_Root	
a Landad Camfirmunation File	
• Loaded Configuration File	
• Apache の設定ファイルの名称と所在	
• php.ini がある場所	

- 4. (必須) 簡単な HP を作成して表示できることを確認せよ。
- 5. ビデオを参考に PHP をサーバーモードで起動できるようにせよ。次の画面を付けて報告せよ
 - コマンドプロンプトのショートカットの作成
 - ショートカットの作業フォルダの変更
 - コマンドラインから PHP を実行した結果
 - localhost で表示されたページ

情報メディア専門ユニットI(演習)

第7回(6/13)ノートの内容

項目の最後の文字は次に示す項目の評価である。 \mathbf{y} (プログラム等のリスト)、説 (プログラム説明が手書きまたは印刷である)、 \mathbf{Z} (結果のキャプチャ画面)、 \mathbf{Z} (考察が手書きまたは印刷である) を意味し、次の記号で評価を示す。 \mathbf{Z} (不備またはない)、 \mathbf{Z} (もう一息)、 \mathbf{Z} (良い)、 \mathbf{Z} (し、)、 \mathbf{Z} (し、)、 \mathbf{Z} (し、)、 \mathbf{Z} (こ、)

評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり	
課題 1-1 (10%)	□バンジオ・ビンナの錯視図 形の初期状態、色の変更後 の図が共にある。	□バンジオ・ビンナの錯視図 形の初期状態、色の変更後 の図のどちらかがない。	□バンジオ・ビンナの錯視図 形の初期状態、色の変更後 の図がないか見にくい。	リ説図考
課題 1-2 (20%)	□バンジオ・ビンナの錯視図形(localStorage 版)の初期状態、色の変更後の図が共にある。 □バンジオ・ビンナの錯視図形(localStorage 版)について localStorage の値の確認の図が見やすい。 □バンジオ・ビンナの錯視図形(localStorage 版)でブラウザを閉じた後に、再度表示を説明をするためにコンソールに出力で確認している。 □localStorage 版の 9 行目のコメントを外して上記と同様の結果がある。 □バンジオ・ビンナの錯視図形の形を変えるパラメス。同様の動作は localStorage 版でもできる。	□バンジオ・ビンナの錯視図形(localStorage 版)の初期状態、色の変更後の図のどちらかがない。 □バンジオ・ビンナの錯視図形(localStorage 版)についてlocalStorage 版)にの確認の図が少し見にのが少し見にのがでがでいまでではでいる。 □バンジオ・ビンナの錯視図形(localStorage 版)ですを閉じた後にあの確認が不十分。 □localStorage 版の9行目のコメントを外して上記と同様の結果が一部ない。 □バンジオ・ビンナの錯視図形のおまとでは、シジオ・ビンナの錯視図形のおまがであるための確認が不十分。 □はことでは、この形を外にしたいの形を変えるパラ同様のおりにないの形を変えるが見にしている。	□バンジオ・ビンナの錯視図形(localStorage 版)の初期状態、色の変更後の図がないか見にくい。 □バンジオ・ビンナの錯視図形(localStorage 版)について localStorage 版値の確認の図が見にくい。 □バンジオ・ビンナの錯視図形(localStorage 版)でラウザを閉じた後に、再度表示を説明をするための確認がない。 □localStorage 版の9行目のコメントを外して上記と同様の結果がない。 □バンジオ・ビンナの錯視図形の形を変えるパラメの形の形を変えるパラメの動作のlocalStorage 版が不十分かない。	リ説図考
課題 2-1 (15%)	□バンジオ・ビンナの錯視図形の localStorage 版でページを表示させ、図形のデータを JSON 形式で保存できている図がある。 □構成する色を変えた後でページを閉じ、再度表示させたときに最をの色が表示されることをコンソールで示している。 □バンジオ・ビンナの錯視図形の形を変えるパラメータを外部から指定できるものでデータを JSON 形式でlocalStorage の一つのところに保存するようになっている。	□バンジオ・ビンナの錯視図形の localStorage 版でページを表示させ、図形のデータを JSON 形式で保存できている図が少し見にくい。 □構成する色を変えた後でページを閉じ、再度表示させたときに最後の色が表示されることの説明が不十分。 □バンジオ・ビンナの錯視図形の形を変えるパラメータを外部から指定できるものでデータを JSON 形式でlocalStorage の一つのところに保存していない。	□バンジオ・ビンナの錯視図形の localStorage 版でページを表示させ、図形のデータを JSON 形式で保存できている図が見にくいかない。 □構成する色を変えた後でページを閉じ、再度表示させたときに最後の色が表示されることの説明がない。 □バンジオ・ビンナの錯視図形の形を変えるパラメるものでデータを個別に保存している。	リ説図考

次のページに続きがあります

評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり	
	□「HTML と SVG の間 でデータを交換」におい て最終のデータを個別に localStorage に保存して いる図がある。	□「HTML と SVG の間 でデータを交換」におい て最終のデータを個別に localStorage に保存して いる図が少し見にくい。	□「HTML と SVG の間 でデータを交換」におい て最終のデータを個別に localStorage に保存して いる図がないか見にくい。	
課題 2-2 (15%)	□「HTML と SVG の間で データを交換」において最 終のデータを JSON 形式で localStorage に保存して ある図がある。	□「HTML と SVG の間で データを交換」において最 終のデータを JSON 形式で localStorage に保存して ある図が少し見にくい。	□「HTML と SVG の間で データを交換」において最 終のデータを JSON 形式で localStorage に保存して ある図がないか見にくい。	リ説図考
	□今までに作成した SVG 図形の各種パラメータを localStorage に保存して いる。	□今までに作成した SVG 図形の各種パラメータを localStorage に保存して いる図が少し見にくい。	□今までに作成した SVG 図形の各種パラメータを localStorage に保存して いる図がないか見にくい。	
課題 2-3 (20%)	□分割代入で2つの変数の値を入れ替える式を1回の代入で済ませるプログラムを示し、実行結果の図がある。 □設問にある分割代入の例をすべて実行し、正しい結果が得られている。考察も十分にある。 □getElementsByTagName()で得られたリストに対してforEachメソッドが使えないことの確認がある	□分割代入で2つの変数の値を入れ替える式を1回の代入で済ませるプログラムを示しているが、実行結果の図が見にくい。 □設問にある分割代入の例をすべて実行し、正しい結果が得られている。考察が不十分である。 □getElementsByTagName()で得られたリストに対してforEachメソッドが使えないことの確認が不十分。	□分割代入で2つの変数の値を入れ替える式を1回の代入で済ませるプログラムがないか、間違っている。 □設問にある分割代入の例をすべて実行しているが、正しい結果が得られていない。また、考察がない。 □getElementsByTagName()で得られたリストに対してforEachメソッドが使えないことの確認がない	説考
課題 3 (20%)	□xamppの設定に関する質問 にすべて答えていて十分な 考察ある。	□xampp のインストール場所を確認が少し間違っている。 □ localhost にアクセスしたときに表示される画面が少し見にくい。 □localhost/index.htmlと localhost/index.phpのアクセス画面がともにあるが少し見にくい。 □前問の結果についての考察が不十分である。	□XAMPP のインストール場所を確認していないか間違っている。 □ localhost にアクセスしたときに表示される画面がないか見にくい。 □localhost/index.htmlと localhost/index.phpのアクセス画面がないか見にくい。 □前間の結果についての考察がないか間違っている。	説図考

情報メディア専門ユニットI(演習) 第8回(6/13) プレゼンテーション

この回の予習に基づいてグループ内で議論したことや工夫した点について報告する。

グループメンバー学籍番号

評価 項目	優れている	改良の余地あり
発表 技法 (20%)	□はっきりと丁寧に説明していた。 □発表の際に聴衆の反応を確かめていた。 □間の取り方がよかった。 □決められた時間に近い範囲で行った。 □機材の設定や準備がすぐできた。	□説明が途切れた。 □声が少し大きすぎたか小さすぎた。 □発表の際に聴衆の方をあまり見ていない。 □決められた発表時間が長いまたは短い。 □手元の資料やPC画面を見て発表していた。 □機材の設定や準備に時間がかかった。
発表 構成 (30%)	□初めに発表内容に関する概要があった。 □発表内容の順序がよい。 □各構成の部分のバランスが良かった。 □図や表を使い簡潔にまとめられていた。 □引用は適切である。	 □文字だけの発表であった。 □図が見づらい。 □項目の内容の分量にばらつきがあった。 □スライドごとに情報の詳しさが異なりすぎた。 □ページの分量が発表時間に対して少し足りない、または多い。
発表 内容 (50%)	□内容に間違いがなかった。 □図の使い方がよかった。 □SVG または HTML のデモが適切である。 □内容が自分の言葉で述べられていた。 □それぞれの項目の関連性とバランスがよかった。 □発表したいことが十分に説明されていた。 □自分の意見が明確であった。	□内容の説明不足なところがある。 □図が少なくて説明がわかりずらい。 □実際のデモのがない、または少ない。 □内容に関して独自性がない。 □それぞれの項目の関連性が不十分である。 □発表内容の必要性の説明が足りない。